

# 申第15・16号「駅運営体制の見直し」 「大分地区SSS拡大」について専門協開催！

6月8日申15・16号「駅運営体制の見直し等」について専門協を開催しました。

◎申15号

1・今回、直営化する目的を再度明らかにされたい。

会社) 組織力の向上や人事運用の活性化等、効率的な業務運営を図ることを目的として実施するものである。

組合) 移行後も、業務内容を変更しないのなら、直営化するメリットが見あたらない。JR東で行われている乗務後、駅勤務等を将来的に考えているのか。

会社) あくまでも効率的な業務運営を目的としている。

2・今回の見直しによる。会社の費用負担額を明らかにされたい。

会社) 明らかにすることは困難である。

組合) 当然会社の持ち出しが発生するのではないのか。

会社) 答えられるのは、現行の委託料より低く抑えられる。

3・お客さまが利用しやすい駅体制となるような直営化とされたい。

会社) 基本的には委託会社における現行の駅等の運営体制及び業務内容を変更せずに移行するものである。

組合) 1の項でも述べたが、誰のための直営化がわからない。現在も定期券すら購入出来ない状態を理解しているのか。

会社) 当面は現行の業務内容を維持するが、利用状況等で判断していく。

◎申16号

1・今回新たに5駅スマートサポートステーションへと変更する経緯を明らかにされたい。

会社) 既に説明したとおりである。駅設備 (EVやスロープ) が整備出来た為。

組合) 突如出された事案である。関係自治体や障がい者団体へ説明はされたのか

会社) 関係自治体への説明は行った。

2・3駅は特急停車駅を含んでいる。運賃收受等の考え方を明らかにされたい。

会社) 現行と特に変わるものではない。

組合) 特急列車についてもワンマンで運行され、これでは誰も特急料金は支払はない。

**お客さまも満足する「直営化へ」!**

**無人駅化が進む「大分地区SSS拡大」に反対!**